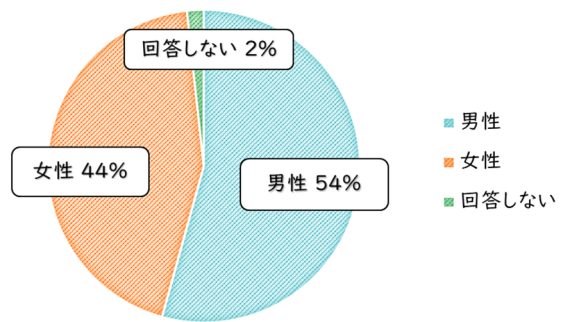


# 第1章 回答者の属性

## 1 性別と年代

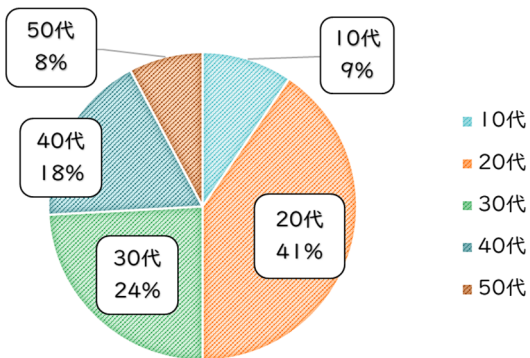
女性は支援につながりにくいと言われているが、職員の担当を同性にする、女性限定のプログラムを設けるなどの配慮により、若年層では男女ほぼ同数の利用となっている。年代が高くなると顕著に女性比率は下がる。40代以上の女性は診断にもたどりついていない現状があると思われる。

図1-1 性別



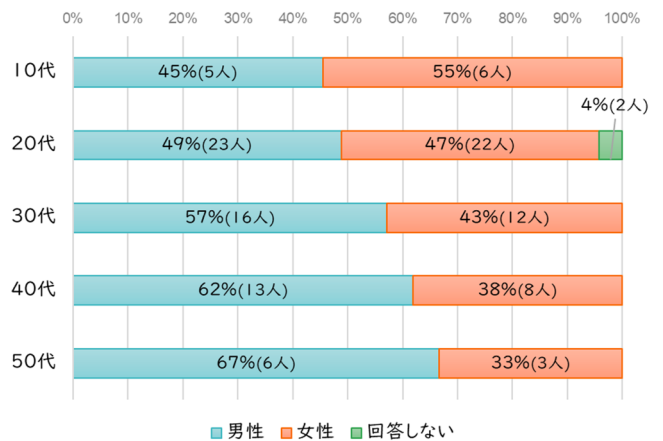
※問1-1 あなたの性別を教えてください/単一回答  
※n=116

図1-2 年代



※問1-2 あなたの年齢を教えてください/単一回答  
※n=116

図1-3 男女別の年代比率

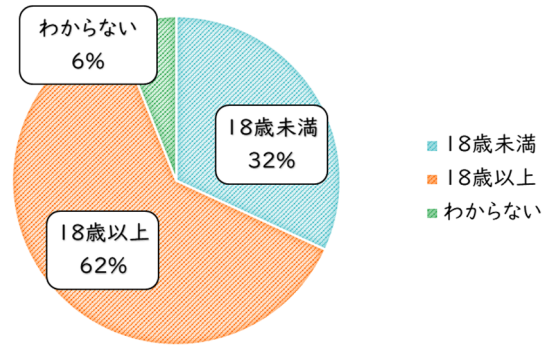


※n=116

## 2 発達障がいの診断時期

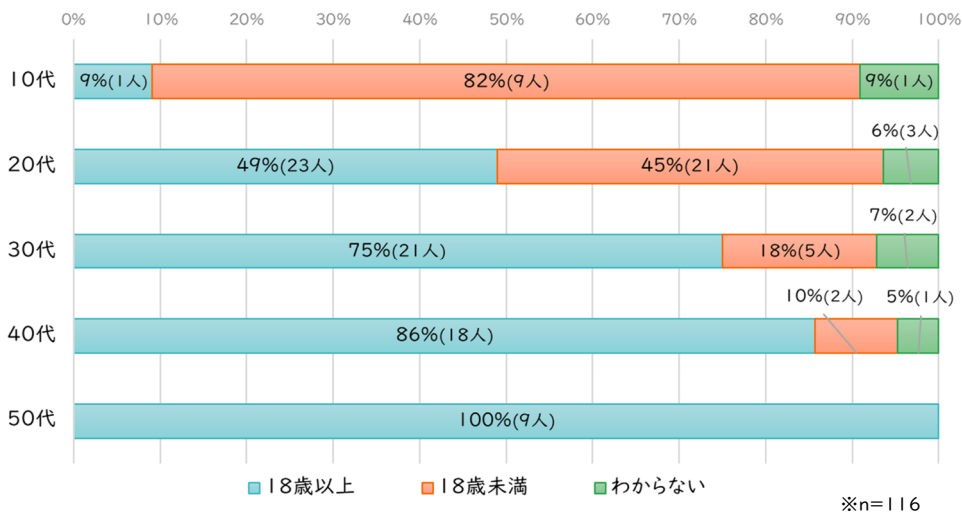
発達障がいの情報は広まりつつあるが、現時点では大人になってからの診断が半数以上である。40代以上は、こども時代に発達障がいと気づかれず、診断が出ない時代であったことを反映している。【今、困っていることがあるか（診断時期別）】（P21、[図3-10](#)）のクロス集計では、こども時代に診断が出ている人の方が困りごとが少ない結果であり、また自由記述の中にこども時代の診断を望む声もあり、早期診断、早期支援は緊急の課題である。

図1-4 発達障がいの診断時期



※問 1-3 あなたが発達障がいの診断を受けた時期を教えてください/単一回答  
※n=116

図1-5 年代別の診断時期



## 3 診断名

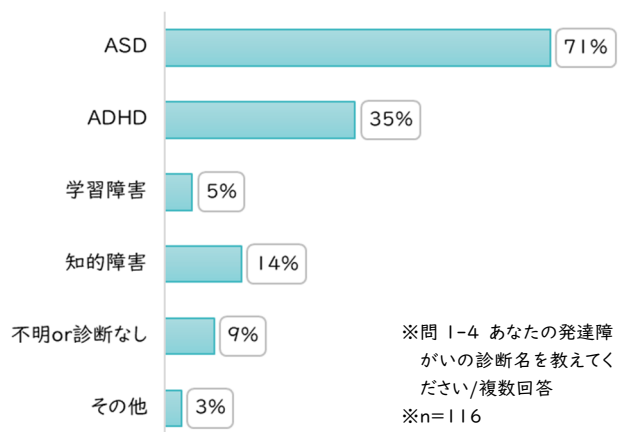
ASDとADHDの比率は、実態調査（※注）、一般的な調査と大きな差はない。

今回は設問に入れていないが、実態調査では診断が出ている人のうち、何らかの精神疾患を合併している人が29%であった。

※注 [実態調査]

「2021年度継続相談者実態調査」。2020年11月～2022年3月までの17か月間で、継続相談となった期間がある方279名を対象に実施した。

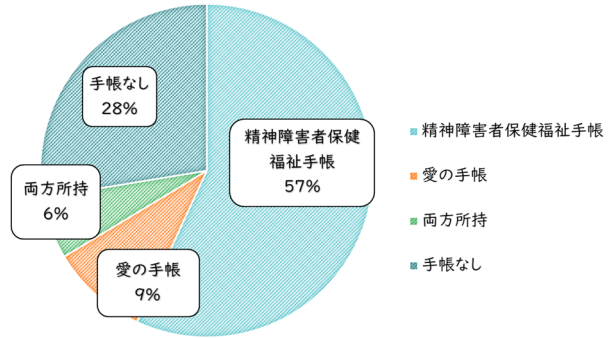
図1-6 発達障がいの診断名



## 4 障害者手帳の取得状況

実態調査(※注 P5参照)では、手帳取得51%であったが、今回は72%と手帳の取得率は高かった。プログラムを利用し、発達障がい仲間ができることで、手帳取得にふみきる傾向がある。

図1-7 障害者手帳の取得状況

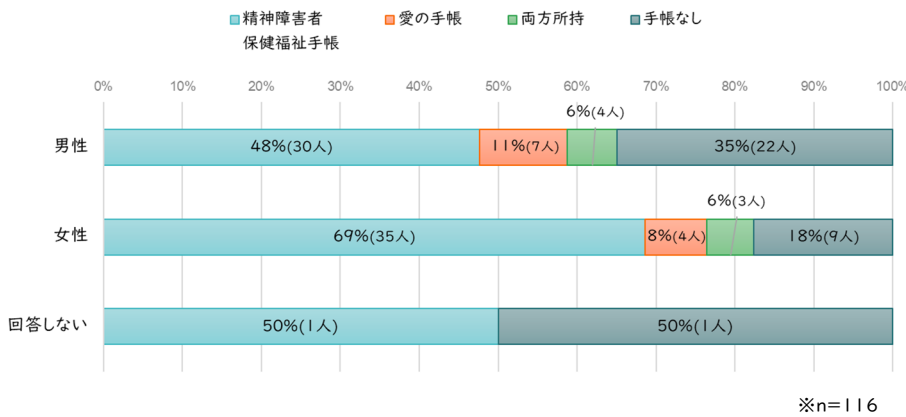


※問1-5 愛の手帳と精神障害者保健福祉手帳の取得について教えてください/単一回答

※n=116

※愛の手帳(療育手帳)とは、知的障がい(知的発達症)のある方へ交付される手帳

図1-8 性別ごとの手帳取得状況

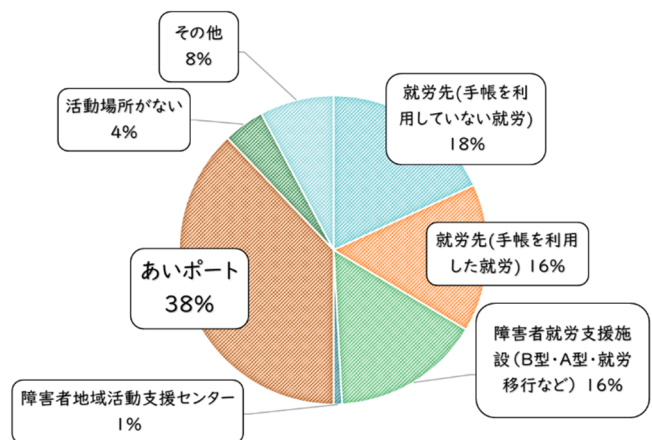


## 5 主な活動場所

就労している人や就労支援施設に通所している人でも、あいポートを主な活動場所を選ぶ人がいて、あいポートの比率が高かった。あいポートは利用頻度に関わらず、帰属のある場所、頼れる場所として選ばれていると思われる。

「その他」の記述は「高校生」「学校」「フリースクール」「通信制大学」「家」「デイケア」等。

図1-9 主な活動場所



※問1-6 あなたの主な活動場所を教えてください/単一回答

※「B型」→就労継続支援B型事業所、「A型」→就労継続支援A型事業所、「就労移行」→就労移行支援事業所

※n=116

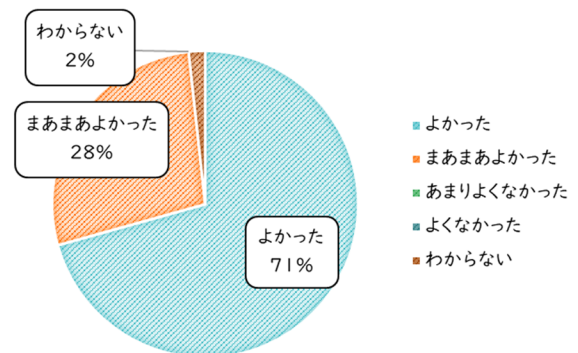
## 第2章

あいポートの事業内容の評価と  
今後の希望

## 1 あいポートの事業内容の評価

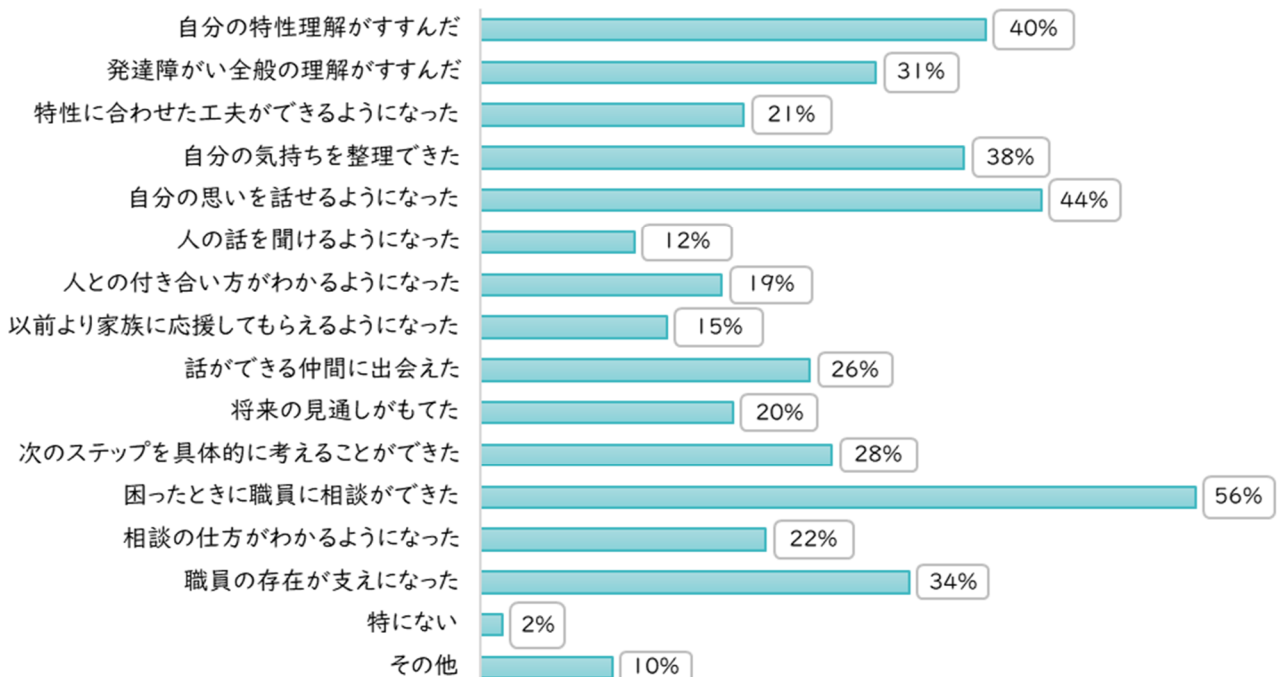
現在利用している人が対象のこともあり、「よかった」71%、「まあまあよかった」28%と高評価だった。学校や就労支援施設のように、利害に直結しないため、合わない人は来ていない、必要に応じて利用しているといえる。「職員の対応が安心・信頼できる」(図2-3)「困ったときに職員に相談できた」(図2-2)ことが評価されており、開設の目標を達成できている。

図2-1 あいポートを利用した印象



※問2-1 あいポートを利用した印象を教えてください/単一回答  
※n=116

図2-2 あいポートを利用してよかったこと



※問2-2 あいポートを利用して「よかった」と思うことを教えてください/複数回答  
※n=116

図2-3 あいポートが利用しやすい理由

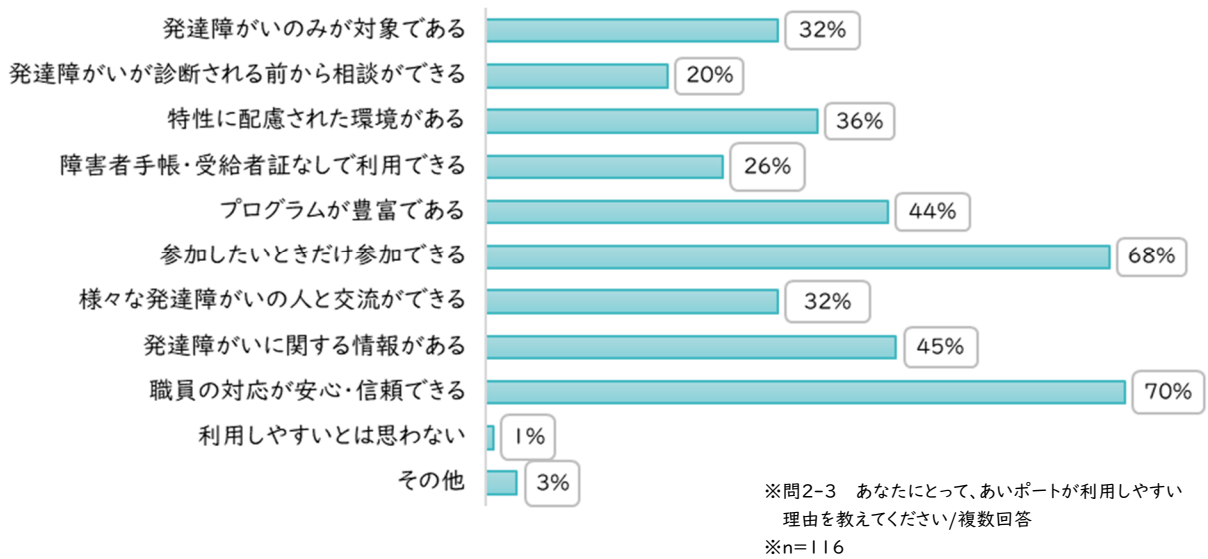


図2-4 あいポートで相談したいこと

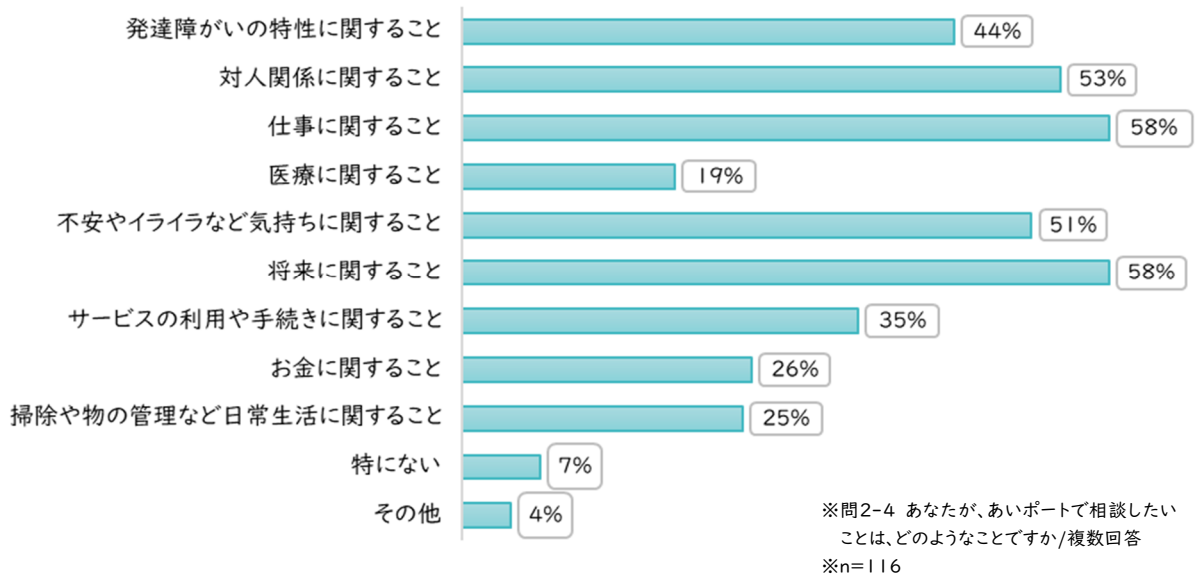
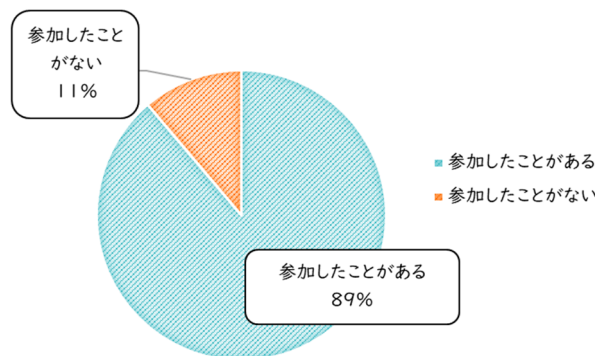
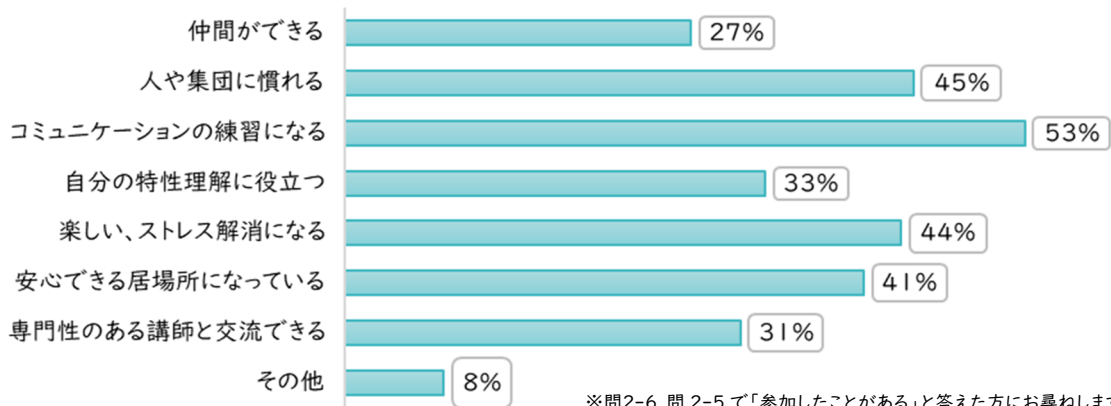


図2-5 プログラム参加したことがあるか



※問2-5 あなたはプログラムに参加したことがありますか/単一回答

図2-6 プログラムに参加する理由

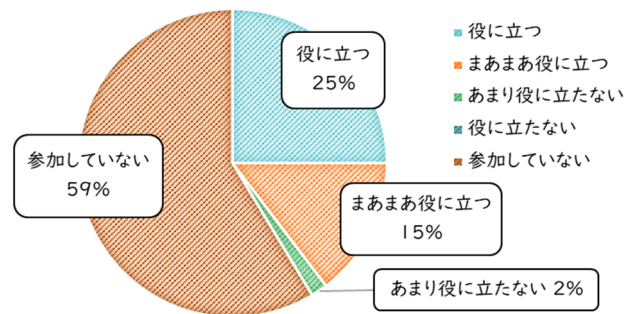


※問2-6 問2-5で「参加したことがある」と答えた方にお尋ねします。  
 あなたがプログラムに参加する理由を教えてください/複数回答  
 ※n=104

## 2 講演会等で学びたいこと

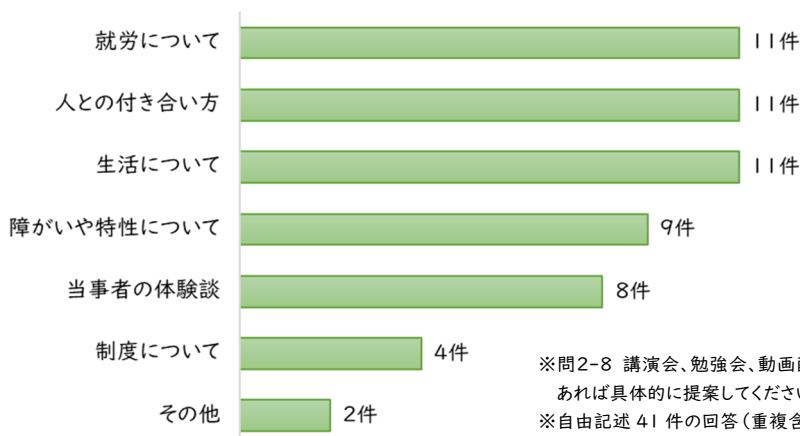
普及啓発を目的とする講演会は対面ではなくオンライン中心となり、無難な内容になる傾向がある。そこで3年目から本人向け利用者学習会を対面かつ少人数で開催している。毎回、熱心な質疑応答となり、ニーズは高い。

図2-7 講演会等が役に立つか



※問2-7 あいポートの講演会、動画配信、利用者学習会は役に立ちますか/単一回答  
 ※n=116

図2-8 講演会等で学びたいこと(自由記述)



※問2-8 講演会、勉強会、動画配信で学びたいことがあれば具体的に提案してください/自由記述  
 ※自由記述41件の回答(重複含み56件)より  
 ※自由記述のグラフ作成方法については序章「アンケート調査の概要」を参照

## 自由記述より /

問2-8 講演会、勉強会、動画配信で学びたいことがあれば具体的に提案してください/自由記述

### 就労について

発達障害グレーゾーンの人の就労、一般雇用での困りごと対策(30代/女性)

自分にあつた仕事のみつけ方(20代/男性)

### 人との付き合い方

自分を大切に、また相手の事も本当に大切に出来る意味など(50代/女性)

人との交流に勇気が出ないので気軽に参加できるイベントがあつたら参加してみたい。できれば障がいの有無関係なくいろんな人といろんなこととお話してみたい(20代/女性)

身近な人を理解するスキルを学びたい。同僚でもなかなか理解できないことが多いので、付き合い方を学びたい(40代/男性)

### 生活について

社会的に主婦も働くという世の中で、子育て、家事と仕事の両立をしていく方法など知りたい。仕事をするだけで疲れやすい発達障害の人が子育て、家事と負荷の多さをどうこなしていくかなど…。(40代/女性)

災害時の避難方法などです(20代/男性)

発達障がいのある人が社会で生活していくうえで、意識しなければならないことや物事の判断基準を学べたらいいなと思います(20代/男性)

### 障がいや特性について

特性に関する向き合い方や方法(30代/女性)

成長できる人と成長がとまる人、人間の不思議について学びたい(40代/女性)

### 当事者の体験談

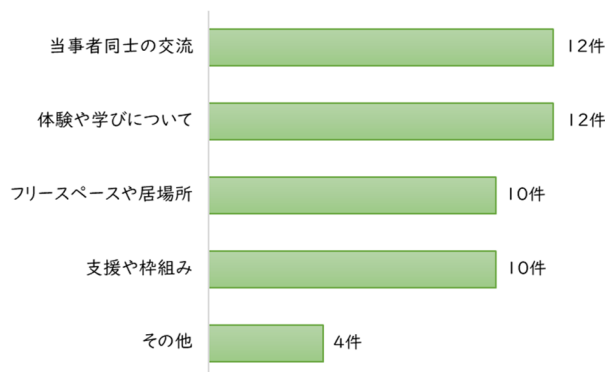
自己理解を経て、特性を活かして働いている先輩方の体験談を聞きたい(40代/男性)

他の発達障害の人たちがどんな風に仕事をしているかや、生活環境のこと(10代/女性)

### 3 あったらいいなと思うこと

プログラムのニーズ調査は毎年実施し、利用者の意見を取り入れて新たなプログラムを増やし、利用状況に応じて年度途中でも改変している。今回は、当事者同士の交流や居場所を求める声が多かった。あいポートを通して関係性ができて、自主的な当事者会が発足した経緯もある。同じ障がいのある仲間との出会いが役に立つことが実感されている。2024年度はこの結果を受けて、新たなプログラムを7つ増やしている。

図2-9 あったらいいなと思うこと(自由記述)



※問2-9 あいポートにあったらいいなと思うことがあれば、具体的にお聞かせください。/自由記述  
 ※自由記述 42 件の回答 (重複含み 48 件) より  
 ※自由記述のグラフ作成方法については序章「アンケート調査の概要」を参照

#### 自由記述より / 問2-9 あいポートにあったらいいなと思うことがあれば、具体的にお聞かせください。

##### 当事者同士の交流

過去にあいポートを利用した方で、その後充実した社会生活を送ることができるようになった方がいれば、その方と交流する機会があればいいと思います (20代/男性)

ホルモンの関係やPMSなど、女性特有の悩みもあると思うので、女性だけのグループワークや情報交換会の場があればと思います (30代/女性)

子育て世代が楽しめるプログラム (30代/女性)

##### 体験や学びについて

福祉のしくみを知りたいです。ジョブコーチ、合理的配慮、復職などなど (40代/男性)

卓球サークルがあつたらいいと思います (20代/男性)

マネー講座、障害者雇用 (30代/男性)

##### フリースペースや居場所

プログラムとは別で好きな時に来て好きなことをするフリースペース?居場所?みたいなものがあるといいなと思いました (20代/女性)

シェアオフィスとか作業カフェのような、立ち寄れて自分のことができるフリースペース (30代/女性)

ただお話しするスペースや作業するスペースがあつたらうれしいです (20代/女性)



## 支援や枠組み

“ 永年利用できるグループワークがほしいです(30代/男性) ”

“ 区内他施設での出張相談(場所が不便なので)(40代/女性) ”

“ カウンセラーによる対話プログラム(1対1)(50代/男性) ”

## 報告書検討メンバー コメント

「あいポートを利用した印象」では、ほぼ全員が「よかった」か「まあまあよかった」と評価しました。「どこがよかったか」では、困ったときに職員に相談ができた(56%)、自分の思いを話せるようになった(44%)。「あいポートが利用しやすい理由」では、第1位が職員の対応が安心・信頼できる(70%)でした。

あいポートが発足して4年、地域の発達障がい者の拠り所になっています。本人たちの安心感を与えるための状況、そして安心できる雰囲気を創り出すことを、専門的・計画的に行っており、私たち親にとってたいへん有り難い存在です。

板橋区発達障害児者親の会(IJの会)代表 鈴木 正子

事業内容に関する印象としては、「よかった」が約7割と高い満足感が表明された。そして、その「よかった」と実感する理由として、「相談に対応できる職員の存在」や「自分の思いを言葉にする経験」、そして「自分の発達障害の特性の理解」についての肯定的な〈自己肯定的感〉の表れだと考えることができる。さらに「利用しやすい理由」では「職員」の対応について「安心・信頼」ができること、「プログラム」は、自分の状態に合わせて「参加」が自由に選択できる点が評価されている。そして、「相談したい」とについては、「仕事」・「将来」・「対人関係」の3つが悩みの中核にあることが確認された。そして、「今後の希望すること(あいポートにあったらいいな)」に関しては、「当事者同士の交流の場」「寛げるフリースペース」・「さまざまな体験や学びの機会」・「支援継続(つながり)の仕組み(プログラム)」が期待されていることが判明した。

立教大学コミュニティ福祉学部特別専任教授 結城 俊哉

あいポートは令和2年度の開設より、相談支援をはじめ、ライフステージに合わせた総合的な支援を行う拠点として機能し、今回のアンケートでも利用者の満足度は高かった。今後も、利用者のニーズを反映した社会参加支援や家族支援の強化を図るなど、支援体制をより充実しつつ、利用者が、安定した日常生活又は社会生活が送れるよう自立と就労に向けた取組の充実を進めていく。

板橋区障がい政策課